

# 平成30年度学校自己評価システムシート（県立大宮光陵高等学校）

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身につけ、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>組織的な教科指導のもとに生徒の自主的な学習姿勢を育て、確かな学力と専門的な能力の向上を図る。</li> <li>計画的・系統的な進路指導を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。</li> <li>芸術活動、国際交流事業等を充実させ、豊かな情操、主体性、協調性、創造性を育む。</li> <li>基本的生活習慣を確立させ、特別活動・部活動などを通して自主的・自律的な精神を養う。</li> <li>家庭、地域等との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	2名
	生徒	6名
	事務局（教職員）	12名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標				年度評価（2月7日現在）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策
1	（現状）授業アンケートを実施し、授業改善に生かしている。シラバスを生かし計画的・自発的学習を促している。協調学習を含めた授業研究を行っている。自習室を設置し、自主的な学習を促している。 （課題）生徒の家庭での学習時間を増やす。協調学習やアクティブラーニング、新指導要領、「大学入学共通テスト」の研究を進める。	指導力を向上し、生徒の自主的な学習習慣を向上させる。	①授業アンケートを実施し、授業改善に生かすよう各教科で検討する。 ②シラバスの効果的活用により、生徒の計画的・自主的学習を促す。 ③生徒の家庭での学習習慣を促すような目標や課題等を設定する。 ④協調学習やアクティブラーニング、新学習指導要領に基づいた新教育課程、「大学入学共通テスト」について、校外の研修会等も活用し、各教科で研究する。 ⑤自習室の設置を継続し、空調や利用時間等の環境を整備し、利用を呼びかけ、自主学習を促す。	①アンケートでの生徒・保護者の授業への満足度は上昇したか。 ②③生徒の毎日の学習習慣は定着したか。家庭学習時間は増えたか。 ④各教科で研究・研修を実施し、教科指導に生かしたか。また、新教育課程の原案を作成したか。 ⑤自習室の利用者は増加したか。	将来構想委員会を設置し新教育課程に向けて多角的な検討を始めた。 ①授業アンケートの満足度は85.2%で上向いている。②③シラバスを生かし小テスト等計画的学習を促した。④教科会を時間割に組み込み指導力の向上等の研修、授業研究を行った。⑥朝、放課後、長期休業中に自習室を開放したが利用者は減少した。	A	授業アンケート、シラバスの実施を継続する。教科指導の充実を図るため教科会での研修を充実させる。新教育課程、大学共通テストについて各教科での研究をさらに進めていく。自習室の利用しやすい方法を工夫し開放を継続する。生徒の人生観・職業観を含め自主的な学習姿勢をいかに育てていくかが課題である。
2	（現状）3年間を見通した進路指導計画表に基づき進路指導を行っている。スタディーサポートや模試を実施し、学年ごとに進路学習、説明会、進路面談を実施して進路意識を高めさせている。芸術科も含め生徒の進路希望に合わせた補講を開講している。 （課題）スタディサポートや模擬試験の検証を継続・実施し進路指導に生かす。各学年の進路学習・行事を見直し、効果的な補講について検討する。保護者へ最新の入試情報を周知・徹底する有益な方法を検討する。	3年間を見通した計画的な進路指導のもとに早期から進路意識を醸成する。	①各学年ごとに進路指導計画表を作成する。 ②3年間継続し実施しているスタディーサポートや模擬試験を有効活用し、進路意識を高めさせ、結果を検証して情報を生徒に提供する。 ③実力養成のための3年生の進学補講、基礎力向上のための1・2年生の進学補講を充実させ、それぞれ効果的な実施を各教科に呼びかける。 ④各種進路行事については事前・事後の指導を含めて充実させ、「進路の手引き」を軸とした指導を徹底し、特に1・2年生の進路意識啓発の取組を強化する。 ⑤各学年保護者会、PTA主催の進路カフェで、より具体的な情報を提供し、保護者の進路に対する興味・関心を高める。	①3年間を見通した進路指導計画表を作成したか。 ②スタディーサポート・模試の結果や推移を分析・活用できたか。模試の申込数は増加したか。 ③進学補講に対する生徒の満足度は上昇したか。 ④生徒の進路行事への取組は意欲的で満足度は高いか。1・2年生の進路希望は明確になったか。 ⑤生徒・保護者の進路指導・情報提供に対する満足度は上昇したか。	3年間を見通した進路指導計画表のもとに早期に進路意識を高めるように努めた。 ①学年ごとに進路指導表を作成した。②スタディーサポートや模擬試験を有効活用した。③実力養成のための3学年進学補講を実施し、1・2学年の進学補講も充実させたが、参加人数は減少し満足度も減少した。④各種進路行事の内容を見直し、「進路の手引き」を軸として早まる入試への対応を意識した指導をした。⑤保護者会、PTA主催の進路カフェで情報提供した。	B	高大接続改革についての動きを全職員で理解し新制度入試に備えるため、校内研修の実施、大学入試英語成績提供システムに関する校内体制の整備、e-Portfolio等新しい提出書類の準備を推進する。補講の開講準備をもっと円滑にする。進路情報の提供や相談、補講等の取り組みについて、アンケート結果をもとに検討する。AO・推薦入試への出願増加に伴い、早期の入試対策が急務である。「進路カフェ」の実施時期や場所を検討して継続する。
3	（現状）芸術科の活動では、校内外の発表会、展覧会等で、全国レベルの実績を残している。オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修、音楽科ヨーロッパ研修を成功させ、帰国報告会を実施している。 （課題）芸術科や国際教育などホームページ（HP）等のアピールの継続が必要である。国際理解委員会を活性化させるなど生徒が関わる場面をさらに積極的に設ける。	4学科1コースの良さを活かし、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させる。	①「Koryo Arts Link」事業を継続すると共に、活動を広くHPなどでアピールする。 ②校内外の発表・展覧会等を充実させると共に、その成果を広くHPなどでアピールする。 ③オーストラリア姉妹校の来校を全校で迎え、書道科台湾研修、美術科ヨーロッパ研修を成功させ、その成果を全校生徒に報告し共有させる。 ④生徒の国際理解委員会に、国際交流に関する行事に関わらせる。 ⑤上記の活動の中に、生徒の主体性を育むために、全校生徒が関わる場面を積極的に設ける。	①HPを随時更新し事業の実施状況や活動の様子をアピールしたか。 ②校内外の発表・展覧会等の成果が上がり、HPに掲載できたか。 ③海外研修・芸術科の研修を実施し、全校で成果を共有できたか。 ④国際理解委員会が国際交流に関する行事に関わったか。 ⑤各活動において全校生徒の関われる機会を持てたか。	「Koryo Arts Link」事業を継続し、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させた。 ①②今年度も全国レベルの実績を残し、メディアでも取り上げられ、HPでも紹介した。③④⑤オーストラリア姉妹校来校し、国際交流委員が主体となって対応した。書道科台湾研修を成功させ、美術科ヨーロッパ研修も事前指導等準備をすすめている。	A	各方面との連携や交流を積極的に図り、本校の芸術活動への理解と支援を求めながら、生徒に有益な体験を多くもたらす活動を考え、さらに全校生徒に還元していく。姉妹校との相互訪問を継続しつつ多様な交流方法を検討する。国際交流委員会の活動の活性化と国際交流イベントを校内で開催することも検討する。
4	（現状）基本的生活習慣を確立させる指導、交通安全指導、マナー向上の指導を年間を通して継続的に実施。学校生活アンケートの実施によりいじめ実態等の把握に努めている。外部機関と連携した相談体制を整えている。 （課題）バス乗車のマナーについては、乗り方を含め全校生徒へ注意を促し、さらに交通安全に対する意識を啓発する必要がある。行事等を通して自己肯定感を持たせ、社会性を身につけさせる必要がある。	規範意識の醸成と主体性を育む生徒指導を推進する。	①整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導を継続する。 ②自転車事故防止のための交通安全指導を徹底する。 ③光陵祭、スポーツ大会、予備会などの学校行事を生徒に主体的に運営させ、生徒が他者に対する適切な配慮や自己肯定感を持てるような場面を設定するよう工夫する。 ④部活動（特に運動部）の加入増を図るために部活動見学の機会を設け、活動状況を積極的に外部に発信する。 ⑤生徒に関わる情報交換を密にし、問題に対し早期対応できるよう教育相談体制を充実させ、外部機関との連携の強化を図る。	①②各指導を実施したか。近隣からの苦情は減少したか。 ③アンケートにおける生徒・保護者の満足度は上昇したか。 ④部活動加入率は上昇したか。部活動見学に参加した中学生は増加したか。活動の状況や大会などの結果をHPに更新したか。 ⑤生徒面談を実施したか。アンケートにおける生徒・保護者の満足度は上昇したか。	基本的生活習慣を確立させるとともに、特別活動等の充実をおして、自主的・自律的な精神を養った。①②③整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導、交通安全指導、清掃指導等を行った。アンケート結果は改善した。④部活動の加入率に大きな変化はない。HPの更新は行えた。⑤校内の情報交換を密にし、外部カウンセラーとも連携し、適切な対応を図った。面談期間を設置。教育相談研修会を実施した。アンケート結果は改善した。	B	表現力を高め適切に自他を尊重しつつ自分の意見を発信し、社会人としてのマナーや常識を身に付けられるよう、日常生活の中での考え方や行動のあり方などを指導する。防犯意識を高め快適な生活環境を整備できるよう指導する。朝読書・清掃・整容指導の取組をより充実させる。生徒の自主的活動を伸ばし成長していける環境をつくる。講演会等を通じて、人権を尊重し、社会に貢献する人材を育成する。
5	（現状）保護者の学校に対する満足度は高い。交流事業も関係者から好評を得ている。メール配信システムを活用し、保護者に情報を配信している。地域の小学校や中学校と交流する事業を実施している。 （課題）ホームページがより魅力的になるように工夫する。部活動等のページも積極的に更新を行い、本校の魅力を引き続きアピールする必要がある。本年度の授業公開は平日であるが、今後どのように行っていくか検討する。普通科の体験授業についても検討する。	本校の良さを積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。	①HPの更新を頻繁に行い、部活動の実績や学校行事についても、その内容をわかりやすく伝え、本校の魅力を積極的にアピールする。 ②メール配信システムを様々な場面に活用し、保護者に適切な情報提供を行う。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等、外部に向けて行事の宣伝を積極的にを行い、保護者や地域の人々、中学生などの来校を促す。 ④地域との交流事業を積極的にを行い、地域との連携を深める。 ⑤学校説明会、中学校訪問、中学校や塾等での説明会など生徒募集活動を積極的に進行。	①②HPへのアクセス数は増加したか。メールを適切に配信したか。生徒・保護者の学校に対する満足度は上昇したか。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等外部向け行事の参加者数は増加したか。関係者の評価は高かったか。 ④地域との交流事業を実施し、関係者の好評を得られたか。 ⑤各説明会を実施したか。参加人数は増加したか。本校の志願者数は増加したか。	本校の良さを積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進した。①②学校行事等、頻繁にHPを更新し光陵生の日常生活を広く発信できた。満足度は改善したがイメージについてはあまりよくない。③光陵祭、授業公開、公開講座など実施し、参加者の好評を得たが地域の参加者は少ない。④植水小学校との交流事業は今年も好評を得た。⑤学校説明会、中学校訪問、中学校や塾等での説明会など積極的に行ったが大規模改修の影響もあり参加者は減少し、志願者も減少している。	B	HPの内容や配置について、いっそう分かりやすく見やすいよう工夫する。普通科の学校説明会については、授業や部活動の体験の実施も含めさらに検討する。来年度は保護者会を土曜日に実施する（午前授業公開、午後保護者会）。同日に地域への学校公開、中学生等対象の学校説明会（普通科・美術科）も行う予定である。HPのほか、学校からのメール配信システムを有効利用し、情報発信に努めるとともに、保護者からの意見を集約する。

学校関係者評価		
実施日	平成31年2月8日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		
授業アンケートの結果は教科によって差がある。数字がすべてを表しているわけではないが、それを踏まえつつ授業改善に取り組んでほしい。将来構想委員会を立ち上げて新教育課程に対する準備を始めているということなので、情報を共有しさらに進めていくと良い。		
AO入試や推薦入試が増えているとのことだが、この流れは一過性のもので、新しい入試制度と共に激変するのではないかと思われる。今までのようなAO入試や推薦入試はできないだろう。大学入学共通テスト、英語認定試験、e-portfolioなど新たな制度が導入されていくようだが、実際にどのように用いられていくのか、情報を広く伝えてほしい。		
小学校と交流事業を行っているということだが、美術や書道の作品の貸し出しや、地域の中学校にも出向いて、音楽・美術・書道などの実技指導をするといった交流事業があってもよいのではないかと。普通科でも芸術科に接することのできる環境は素晴らしいので、今後も活かして欲しい。		
光陵高校の生徒のマナーは地元ではそれほど悪いとは聞いていない。今後も創造力を身につけ人間としての成長を促すような指導をしてほしい。盗難については社会でも問題になっている。高校生の時から防犯意識を身につけてほしい。校内の美化については、やや改善しているようである。大規模改修後には良くなるかもしれない。		
地元では全体的に高齢化が進んでおり、ボランティアに協力してもらえるとありがたい。保護者と生徒のアンケート結果が近いということは、家庭でも親子でよく話をしていることであろう。よい傾向である。ただし、保護者アンケートの回収率はもう少し上がるとよいのではないかと。		

